

月刊

お陰様でタクミデザインは56年目を迎えることができました。

～ ありがとうございます ～

ありがとう通信

このニュースレターは、過去にお仕事させて頂いたり、お問い合わせ頂いた方など【大切な方】にのみお贈りさせて頂いております。

Vol. 149

「こうしたい」が言えなくても大丈夫
一緒に見つけて、カタチにします。



ホームページ・公式LINE・InstagramのQRコードです！ 登録していただくと、最新の情報やイベントのお知らせをすぐにチェックできます。ぜひお気軽にご参加ください！

ホームページ



リフォーム相談
公式LINE



Instagram



株式会社 ^{たくみ} エデザイン

〒671-1102 兵庫県姫路市広畑区蒲田3丁目120

TEL 079-239-9001 FAX 079-239-9050

会長プロフィール

岡田 保

- 【資格】 建築家 インテリアプランナー 福祉住環境コーディネーター 経歴56年間に渡り住宅及び店舗・ビルの設計施工に携わる。ちなみに今年84歳
- 【趣味】 読書・健康と体力維持のためにジム通い
- 【家族】 妻と二人暮らし 息子1人と娘2人はエデザインに在籍中



会長のコラム

たくみの道…

第一四九話

人生は挑戦なり

致知9月号の特集がこのテーマで、毎号特集の前書きを編集長で社長でもある藤尾氏が執筆されていると思っているのですが、いつもながらの博学で古典の引用から創刊から今までの有名人・学者・偉人・名経営者・アスリートと多岐にわたる方達のインタビューと検証から得た学び、知識や情報など知らなかった事がたくさんあるので前書きだけですがごく勉強になります。今月のテーマも見事に集約されていて「人類の誕生から今日までの歴史は挑戦の歴史である。それは、人類は様々な挑戦を試してみても今日の世界を創った。産業革命から最近のAIに至る挑戦はすごいことです。」という大きな流れから「挑戦は発明や開発に限らない、人格陶冶の道にも挑戦は不可欠である。」「人間、歳と共に変化成長すべく挑戦をしなければならぬ」というのは、東洋教学の先達の一致して説くところである。」自己成長への挑戦は一生続けなければならない。ということです。【生涯修行 臨終定年】松原泰道老師の言葉です。

ここで毎号のことですが、我が身に振り返ってみて「お前はどうか？至らぬまでもどこまで出来た？」と厳しい声が頭の一方から聞こえてきます。そしてもう一方から「それなりに考えてやっているよ。いつも心掛けているよ。」と強がって答えてしまう。

『人生は挑戦なり』と大きく振りかぶって構えられると「おお、来い」と答える程の挑戦をしてきたらどうか？“俺はやったぞ”と言えるかな。ずっとトーンが下がってしまいます。なので、致知に登場する桁違いのすごい人ばかりの方たちの特集対談から始まって、インタビューや連載のいろいろ。特に『致知随想』では感動と大きな刺激をいつも貰って、自分を鞭打つ大きな栄養剤として活用しているつもりです。

経営面では、頭では色々と考えましたが挑戦したのは僅かで、以前にも書きましたが日々の仕事に追われてズルズルと流されてしまった弱い自分がいます。若い頃にかむしゃらに挑戦しなかったことが悔やまれます。

人生では、知識と教養を今よりもっともっと身に付けて成長するんだ！といつも自分に言い聞かせて、自己啓発本や役に立ちそうな本を色々と読んだり、良きにつけ悪きにつけ「人、みな師なり」を日用心法としてきました。また、「致知」を読み始めてからは、ずっと教科書として自分を鍛えてきました。なかでも稲盛和夫氏の著書からは物凄く勉強をさせてもらいました。ボケてくるまでまだ何年かあるでしょうから、それまでは人間成長を目指して生きて行きたいものです。



おかだ てつや
社長プロフィール **岡田 哲也**

- 【資格】 2級建築士 宅地建物取引士 2級施工管理技士 既存住宅状況調査技術者 一般耐震技術認定者
- 【経歴】 大学卒業後、大阪の店舗の設計施工を行う会社で約10年修行後、姫路に戻り工デザインに入社
- 【趣味】 子育て（笑）今では子供に相手にされてませんけどー

「Z世代、やるやん！！」



9/15は「敬老の日」ですねー！ こんなことがありましたー！
娘：「足の悪いおばあちゃんに歩きやすい靴をプレゼントしてあげたいねん！」
私：「えっ！マジで！そりゃあ喜ぶと思うでー！」 娘：「〇月〇日に行きたいから、おばあちゃんに時間を作ってもらいたいねん。」 私：「OK言うとかわ！」

そんなこんなでその当日。スポーツ用品店の靴売り場におばあちゃんを連れていき、あれこれと品定めをしていると店員さんが「サイズ出しましょうか？」と声をかけてくれました。ちょうど娘と同年ぐらいの店員さんは、自分のおばあちゃんのごとく接客してくれて、本当に感心しました。股関節が悪い私の母親は、足を曲げる角度に限界があり、手を添えて靴を履くことが出来ません。。。ヒモを緩めにして、まるでスリッパのように靴を脱ぎ履きしています。それでも脱げない絶妙の締め具合にセットされていて・・・そんなうまい具合にセットできる靴はなかなか無いんですよ、これが・・・ それなのにあきらめることなく、その店員さんは付き合ってくれました。結局、店員さんが「お調べしたところ、駅前に専門店があるようです。うちでは扱っていない商品になりますので、専門店でお買い求めいただいた方がいいと思います。」と、ここまで時間をかけて接客してくれたのに、ヨソの店を勧めてくれました。お客様のことを考えたら当然の答えだと言わんばかりのその姿勢に本日2回目の感心をしてその店をでました。自分もそんな接客が出来ているかと反省ですー(^_^; 岡田Jr.



《 脚立、ちょっと怖くないですか？ 》

脚立に登って天井のシーリングライトの電球を替える。

掃除なんかしようものなら、ぐらぐらぐら…(心臓もぐらぐら)。

若い頃は平気だったのに、気づけば「ちょっと待てよ」と思うお年頃。

落ちてケガでもしたら笑えない。そこでふと「ペンダントライトとか壁付きライトってどうよ？」と。手の届く高さにあるから、交換も掃除もラクラク。トイレや洗面所などの小さな空間に取り付けてみると「おお、なんかお洒落！」と思われる。。。かもしれない。もちろん注意点もあります。

天井が低いと「ごんつ」と頭に当たったり、光がシーリングほど均一じゃなかったり。。。でもまずは小さな場所で試してみると「なるほど、これは便利」と感じてくださる方も多いのです。

安心・安全・ちょっとおしゃれーそれに、シーリングライトのカバーをつけ外しするときの「よいしょ…ガタつ…あれ？逆だった！」と苦労することも、もうなくなります。



脳トシにチャレンジ！

□の中のアルファベットに数字をいれてね！

	A	3	2	C	7
×		4	×		D
3	3	B	E	6	8



経理 川添 美保

『娘がお世話になっております。』

社会福祉士を目指す大学生の娘は、大学からの実習として1ヶ月間 児童自立支援施設に通っています。実習の内容は充実しているのだけれど、通勤に片道1時間半かかる上、電車とバスを乗り継いで行くので電車が遅延したらバスに乗れない。など、行き帰りの不便さが億劫なのだそうです。実習日はご指導くださる担当職員の方の勤務日程と同じ日程で、土曜・日曜がお休み。な～んてことはなく、当番勤務。

そんな彼女が作詞・作曲 「♪2日行って休み～～ ♪4日行って休み～～♪」
「♪2日行って休み～～ ♪4日行って休み～～♪」

『今日行ったら 折り返し！ 行ってきます！！』



編集長 北本 美佳

～ 漆黒のスーツ ～ いつの間にか契約済み



竹藪で照明に寄ってきたクモの巣を掃除している時。。。『痛っっ』竹のささくれが刺さった！？あまりの痛さに藪を放りだして痛みが走ったところを確認しても何も刺さっているように見えません。それでも「もしかして刺さってるかも…」と刺さった辺りをギューツと絞り出しながらトゲを探しても、出てきません。「藪のほうにささくれが残っているのかな？」藪を確認しても見当たりません。「ん？ あれ？この穴は？」もしかして何かの虫に刺されたのかも…と心地悪くなって姉に事情を話していたら、すかさず姉は殺虫剤でこの穴にシューっ！！原因を調べるべくノコギリで藪を分解。すると黒い虫が出てきました。【タイワンタケクマバチ】という外来種のクマバチでした。そして外に置いてある別の竹藪を探すと有りました。同じ穴が…。

いつの間にか入居済！ 来年は黒と黄色のジャケットと漆黒のスーツのお客様の対策を考えないと。。。